

カーボンレポート

東京都低炭素ビル実績表示

この書面は、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に基づく「地球温暖化対策報告書」(都内の中小規模事業所を対象)により東京都に報告したCO₂排出量の実績等を、地球温暖化対策指針に基づいて表示するものです。

No.A1077-0608

報告書提出
事業者名

三井住友信託銀行株式会社

事業所名

FORECAST茅場町

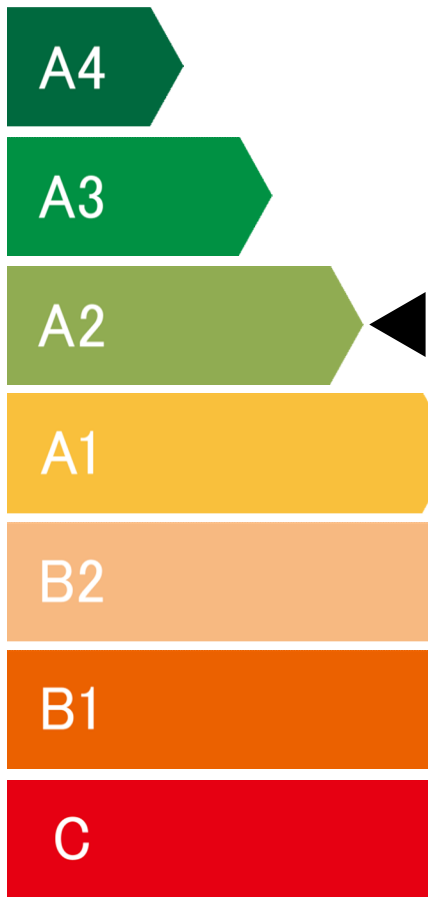
住所

中央区新川一丁目10番14号



実績年度	年間CO ₂ 排出量	延床面積	CO ₂ 排出原単位 (延床面積当たりの年間CO ₂ 排出量)	主たる用途
2017 年	274 t	4966.06 m ²	54.3 kg-CO ₂ /m ²	事務所

ベンチマーク区分:テナントビル(オフィス系、中規模)



A2⁺

平均値

ベンチマーク レンジ	CO ₂ 排出原単位 (kg-CO ₂ /m ²)の範囲	
A4	~	41.6
A3+	41.6	~ 45.3
A3	45.3	~ 49.1
A3-	49.1	~ 52.9
A2+	52.9	~ 56.7
A2	56.7	~ 60.4
A2-	60.4	~ 64.2
A1+	64.2	~ 68.0
A1	68.0	~ 71.8
A1-	71.8	~ 75.5
B2+	75.5	~ 79.3
B2	79.3	~ 83.1
B2-	83.1	~ 86.9
B1	86.9	~ 113.3
C	113.3	~

※ベンチマークは、都内の中小規模事業所のCO₂排出水準(CO₂排出原単位の水準)を15段階で示す指標です。(詳細は、『自己評価指標(ベンチマーク)解説書』(東京都環境局発行)を参照)

※CO₂排出水準は、ビル側の地球温暖化の対策の推進状況だけでなく、ビルの稼働状況や入居者の取組等の影響を含むものです。

※本書面の記載内容は、第三者の検証を受けたものとは限りません。また、報告書提出事業者の事業所範囲についての内容であるため、区分所有等の場合、基本的にビル全体の内容と一致しません。共有の場合は、持分割合に応じたものとなっています。

◆ 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策	その他対策
	対策名	対策名
組織体制の整備	テナントにエネルギー使用量提供	テナントへの温暖化対策協力依頼
エネルギー等の 使用状況の把握	自ら入手可能な情報に基づく把握 エネルギー使用量の前年度比較	
運用対策	空室・不在時等のこまめな消灯	
	空室・不在時等の空調停止	
設備保守対策	空調フィルターの清掃・点検	その他設備の定期的な保守・点検
設備導入対策	高効率照明ランプの採用(屋内) 高効率照明器具の採用(屋内)	高効率照明ランプの採用(屋外) 高効率照明器具の採用(屋外)

上記は、本事業所が実績年度に実施した対策です。

◆ 補足説明(自由記入)

◆ 注記

ビルのCO₂排出原単位(延床面積当りの年間CO₂排出量)は、ビルの断熱性能、設備・機器のエネルギー効率及び運用・保守管理状況を、総合的に示すビルの省エネルギー指標です。東京都が提供するベンチマークは、中小ビルのCO₂排出原単位の平均値を用途別・規模別に示しており、その平均値から個々のビルのCO₂排出原単位がどの程度離れているかをみることで、当該ビルの低炭素レベル(省エネ性能)を評価することができます。

なお、ビルのCO₂排出原単位は、空室率、駐車場や電算室の有無、稼働時間、入居テナントの種類や入居テナントのエネルギーの使い方等によっても影響を受けます。ベンチマークは、こうした様々な要因も包含した平均値を示していますが、省エネの取組以外の要因が著しく大きい等の場合、評価者は、これらの要因がどの程度、CO₂排出原単位に影響を与えているかを考慮する必要があります。詳細は、『自己評価指標(ベンチマーク)解説書』(東京都環境局発行)をご参照ください。